

標準化に対応した病院情報システム

統合型電子カルテシステム

Integrated Electronic Health Record Management System

SBS *Doctor X*

シリーズ



SBS情報システム

SBS Doctor Xシリーズの特長

—コンセプト—

トータルヘルスケアサポート ～生涯カルテを目指し～

標準化対応

Doctor Xは、標準マスタの採用及び標準的情報交換規約を採用しています。標準化の重要性をシステムに反映し、病院職員の業務負担を減らし、システム拡張に向けて優れたコストパフォーマンスを提供します。

驚異のレスポンス

Doctor X・PrimeKartelは、大幅にレスポンスを改善しました。患者選択、オーダー発行等の処理速度が向上し、ストレスを感じないシステムをご提供します。

経営支援

Doctor Xは、物流システム、経営支援システム、人事・給与システムと密接な連携を行い、経営を強力にサポートします。

標準化への対応について

SBS情報システムは医療情報システムにおける“標準化”を重要と考え、ソリューションへの標準化準拠を率先しています。

標準化することは、他システム連携、データの互換性、様々な将来活用を含め、コスト軽減が期待されています。

IHE-Jコネクタソン2006 評価結果一覧

Integration Profile	SW	FW	CP	HL7	SN	SDR	701
Actor							
...							



EHRは、院内だけでなく地域を含め、診療情報を電子化・共有し、生涯健康情報管理などを実現するものとして期待されています。
Doctor Xは、病病・病診連携にて情報を共有するネットワークをサポートします。



紙だけじゃない診療情報提供書 — 病診連携の新しい形

診療情報提供管理システム 患者診療情報提供システム

診療情報提供書を CDにて提供

診療情報提供管理システムでは、紹介患者情報の管理、統計データの処理、紹介状・返書の作成・発行などを行えます。さらに、標準化されたデータ(HL7、DICOMなど)により、診療情報提供書CDを作成できます。これは処方内容・履歴、検体検査結果・履歴、検査画像(単純X線撮影画像・CTなど)のデータをCDに記録することで作成します。



診療情報提供書CD

患者の求めに応じて 処方・検体検査・ 放射線画像をCDにて提供

患者診療情報提供システムからは、患者自身が自らのデータ(処方・検体検査・放射線画像)を確認するためとして、患者向けのCDを作成できます。

CDのデータは 暗号化して管理

CD内に記録されたデータは、個人情報保護のために暗号化対策が施されており、パスワードを入力しなければ閲覧できないようになっています。またCD内にビューワを備えているため、定められたパスワードを入力すれば、紹介先の医療機関でも、患者の自宅でもデータ閲覧をすることができます。

(Windows2000以降のOSがインストールされたPCに対応)

処方	処方結果	検査結果	検査内容
100	100	100	100
200	200	200	200
300	300	300	300
400	400	400	400
500	500	500	500
600	600	600	600
700	700	700	700
800	800	800	800
900	900	900	900
1000	1000	1000	1000



クリニカルパス標準搭載、20床から大学病院規模まで幅広く対応

電子カルテシステム

PrimeKarte

多彩な入力形式での 診療録入力

カルテとSOAPの記載には、様々な入力事項があります。**Doctor X**は、これらの入力の負担を軽減し、各種データを有効活用できるように、テンプレートを展開することで、入力の簡便化、記述内容の統一、入力データの活用(統計など)を実現します。また、フリーテキスト入力による、定型では補えない表現の入力もできます。

操作性の向上

検査結果・指示歴・カルテの参照、オーダの入力、カルテの記入が同時に行えます。

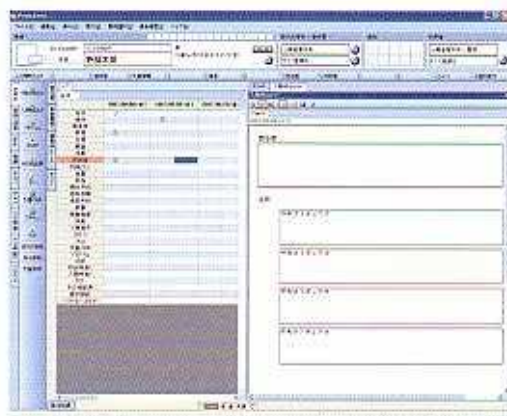
入力を途中で保留にして他の作業に切り替えることができますので、患者様の状態・経過をリアルタイムで確認しながら、オーダの入力やカルテの記入をスムーズに行うことが可能です。また、マルチ・モニターを使用することにより、より多くの情報を同時に閲覧することが可能となります。

紙文書の電子化に対応

「紙」で発生する文書については、スキャナで取り込むことができます。業務終了後にまとめてスキャン処理する運用を実現し、紙カルテのファイリング業務の軽減、電子カルテ化を図ります。

カルテの Web参照機能を搭載

過去のカルテをWebで参照することができます。処方歴や検査結果、手書き文書のスキャナ取込やSOAPの記載などを閲覧することができます。



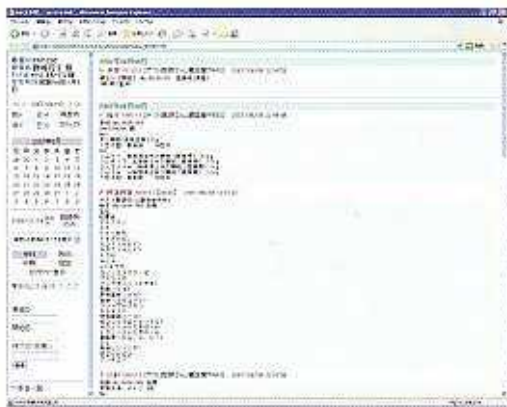
外来・入院
カルテ入力



プロブレムに基づく
SOAP入力



手書き文書の
取り込み



カルテWeb参照

触ったその日から実感できる、入力できる—やさしい操作性

オーダエントリーシステム

PrimeOrder

医師の思考に沿った操作性を実現

DoctorXは、入力元となる医師の操作性を考え、システムとして機能するすべての操作性・画面レイアウトを統一することにより、入力者にストレスを感じさせず患者様と向かい合える診療を実現しています。Windows製品の使用経験があるユーザであれば違和感なく操作でき、触ったその日から入力できるやさしいシステムです。



処方オーダ画面

オーダの入力も簡単に

例えば薬品の入力をする場合には、頭の数字文字を入力するだけで、和名、英名、商品名、頻用薬も即座に検索することができます。また、検査系の項目選択画面は、操作性・画面レイアウトを統一しました。OMR伝票イメージを採用することで、見やすく、直感的な項目選択が可能になります。さらに文字サイズ・色・表示位置等も、マスク設定により自由なカスタマイズが可能です。



検査伝票

患者様の待ち時間の解消

システムに関する予約業務の時間を短縮することで、患者様の「待ち時間の解消」を実現し、患者様のストレス、不安を解消します。同時に操作者はシステムの操作によるストレスから解消され、より多くの時間を患者様と向き合う診療に利用することができます。



注射オーダー

クリニカルパス

医療プロセスの標準化・再設計を通して業務の効率化(業務改善)が行えます。クリニカルパス適用後にバリエーションの分析等から、その妥当性が検証され見直しが行われます。この繰り返しにより医療の質の向上が見込まれます。



クリニカルパス

急性期病院から療養型病院まで幅広く導入が可能

看護支援システム

「見やすい」「使いやすい」 画面構成

ユーザにとっての「見やすさ」「使いやすさ」を実現するために、専門デザイナーが画面配色を手掛けるなどユーザビリティに配慮しています。空床管理画面では、医師から新着のオーダーがあった際画面ベッド上にて点滅してお知らせします。



各種サブシステムも充実

看護診断(NANDA・NICK・NOCK)システム・看護計画システム・褥瘡管理システム・産科支援システムなどさまざまなオプションシステムを用意しています。これらのオプションは病院の予算・状況により、段階的な導入をすることができます。



ベッドサイド業務を 協力支援

ベッドサイドでの発生源入力を実現するために、ノートPCやPDAなど携帯端末を利用します。接続形態は無線LANを利用したリアルタイム接続で行います。また、オーダーリシステムとの連携で注射や点滴の認証チェックを行うことができます。



- 実施者認証・患者認証を行う
- 実施予定ケアの確認
- 採取したバイタル情報を入力
- 実施した処置行為を入力



診療業務を支援するシステム

Doctor Xは、拡張性や入力インターフェイスにも優れ、安定稼動のもと、スムーズな診療業務をご支援します。



Doctor X

医事会計システム

(他社製)

- オーダ情報と自動計算・自動加算を用いて、診療情報を簡単に入力することができます。
- 診療内容はいつでもレセプトイメージで確認できます。入力したデータは基本的にすべて病院様で抽出ができます。

看護支援機能

オーダ受け取り、処方箋・注射箋を印刷できます。薬品や薬剤のマスタメンテツールもご用意。

薬局部門支援機能

オーダを受信→処方箋・注射箋印刷を印刷ができます。薬品や薬剤のマスタメンテツールもご用意。

検査部門支援機能

オーダを受信し、受付処理・検査結果取込→送信が可能。検査患者一覧の印刷ができます。

放射線部門支援機能

受付処理を行うことができ、検査後実施内容入力(会計伝送)も行えます。照射録一覧印刷も可能。

リハビリ部門支援機能

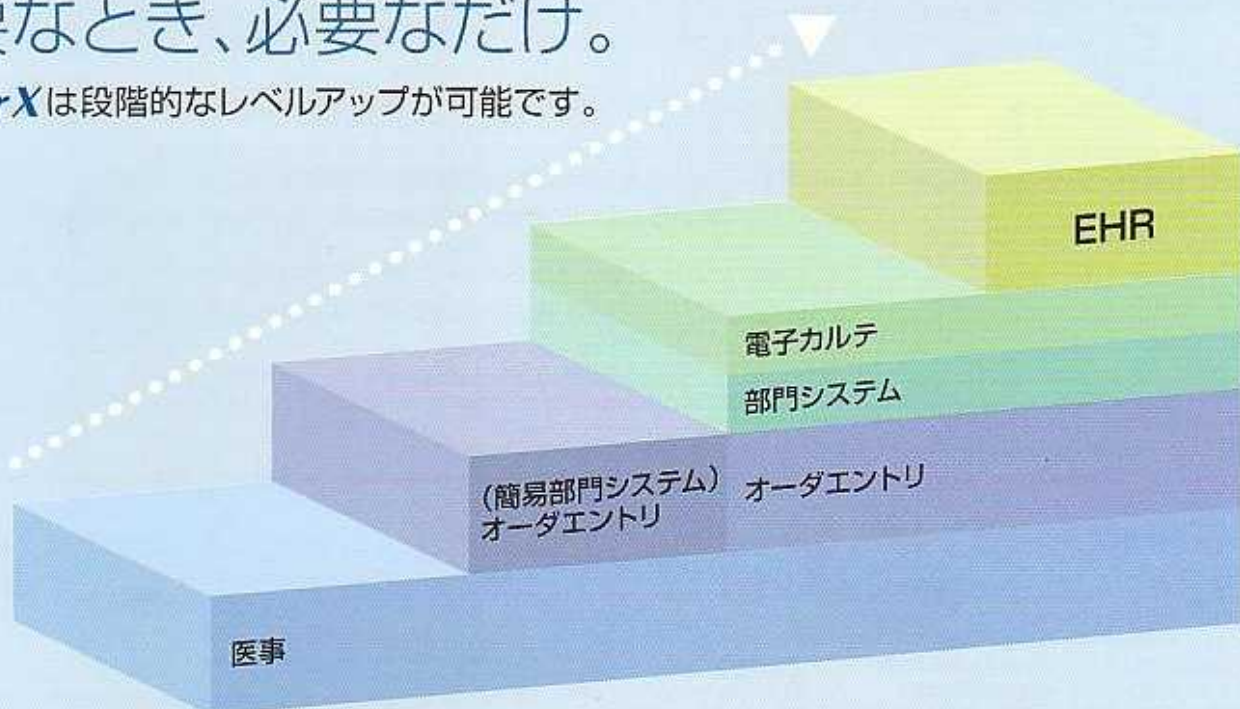
リハビリ依頼内容をリアルタイムに受取り、リハビリ計画、カルテを簡単作成。必要な帳票(療法士スケジュール、日報・月報など)を豊富に揃えております。

栄養部門支援機能

食事内容だけでなく、患者の移動情報(転科転棟・外出泊・退院など)も受取ることができます。食事一覧印刷や栄養指導予約管理が行えます。

必要なとき、必要なだけ。

Doctor Xは段階的なレベルアップが可能です。



メーカーを問わないハード選定

Doctor Xはハードウェアメーカーを問いません。
またサーバOSも、UNIX、Linux、Windowsが選択可能です。病院の規模、要望に合わせたシステム構築を実現します。

柔軟なシステム連携

Doctor Xは、部門システムメーカーも問いません。
他社部門システムとの連携実績が豊富で、病院各部門が望む最適なシステム構築を可能にします。

SBS Doctor Xシリーズ

電子カルテ
PrimeKarte

検査部門支援機能

オーダエントリ
PrimeOrder

放射線部門支援機能

看護支援

リハビリ部門支援機能

薬局部門支援機能

栄養部門支援機能

オプションパッケージ

看護支援システム

リハビリ部門システム

インシデントレポートシステム

参照画像システム

パッケージ内容

診療録管理機能	プロブレム管理、プログレスノート管理、初診時カルテ管理、入院時カルテ管理、退院サマリ、症状詳記、インフォームドコンセント、統合文書管理
オーダエントリ機能	予約、処方、注射、癌化学療法、放射線、検体検査、微生物検査、病理検査、輸血、生理検査、食事、処置、病名、病棟基本、他科依頼、栄養指導、リハビリ、手術
看護支援機能	体温表、看護計画、看護診断、患者状況管理、看護サマリ、入院指示、ワークシート、褥瘡管理、指示受け、空床管理
部門簡易機能	処方・注射薬印刷、検体検査受付・検体結果取込・検査一覧印刷、放射線予約管理・受付・実施入力・照射録印刷、生理検査予約管理・受付・実施入力、食事一覧印刷

SBS情報システムについて

SBS情報システムは、1999年にSBS静岡放送の電算部門が独立したシステムインテグレータです。静岡放送の電算部門であった時代から医療分野の取り組みは長く、約30年の実績がございます。

当社の病院情報システムは、オーダエントリ、看護支援から電子カルテと、システムを必要な分だけ導入し、少しずつシステムを拡充していく方式(アドオン方式)が可能です。

- 本カタログに記載された製品の仕様・デザイン・サービス等は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- Microsoft Windowsは、米国およびその他の国における米国法人Microsoft Corp.の登録商標です。UNIXはThe Open Groupの登録商標です。Linuxは米国およびその他の国におけるLinus Torvalds氏の登録商標あるいは商標です。Intel Pentiumは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の登録商標です。
- その他本カタログに記載されているブランド名及び商品名、会社名はそれぞれの権利所有者の登録商標または商標です。

SBS情報システム

株式会社エスピーエス情報システム

本社 〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-1 TEL:054-288-2576
 浜松支社 〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町11-1 TEL:053-455-3323
 東部支社 〒410-0892 静岡県沼津市魚町1 TEL:055-952-7500
 東京事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座8-3-7 TEL:03-3574-7861

ISO 9001

ソフトウェアの設計・開発・保守・サービスと、コンピュータを用いた業務システムの設計・開発・保守・サービス運用の2つの分野でISO9001:2000年版Jを取得済。

ISO/IEC27001

顧客情報資産を扱う当社における受託計算サービス・ハウジングサービス・ASPサービス及びそれに伴う情報システムの開発・保守について、新しく国際規格として制定されたISO/IEC27001での認証を取得済。